

給排気グリル
セントラル換気用
システム部材
形 名
AT-50QKF

メルコエアテクノロジー

取扱説明書（据付説明書付）

この製品はセントラル換気システムの給排気口として住宅居住室内の天井・壁・床に据付けて使用してください。それ以外の用途・場所には使用（据付け）しないでください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。




なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

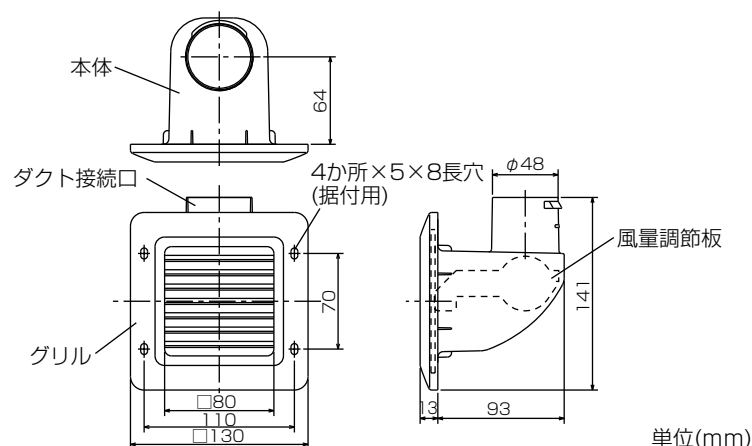
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●冷暖房用の給気グリルとして使用しない (結露水が滴下して家財を汚損する原因) ●本体に荷重をかけない (落下によりけがをする原因)
 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う (落下によりけがをする原因) ●グリルの取付けは確実に行う (落下によりけがをする原因) ●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する (着用しないとけがをする原因)

据付け前のお願い

- 直接炎・油煙が当たるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 据付けの環境によっては結露することがあります。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れた場所に据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- 設置したダクトに著しい変形（ツブレ等）や極端な曲げがある場合は、製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 床面に据付ける場合、グリルに重いものをのせたり、足で踏む場所には据付けしないでください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。

各部のなまえと外形寸法図



■適用パイプ

- ダクトホース（断熱なし）
- ダクトホース（断熱あり）
- フレキシブルダクト

■据付可能場所

- 壁・天井・床（踏みつけられない場所）

■適用板厚

- 5mm～30mm

■付属部品

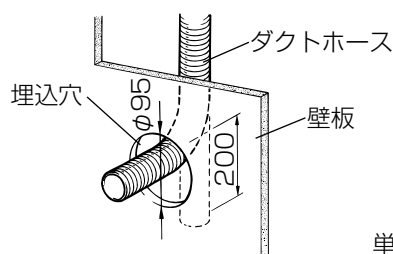
- 木ねじ……………2本

据付方法

■据付けには、壁据付け・天井据付け・床据付けの3通りがあります。ここでは、壁据付けを示します。

天井据付けと床据付けは同様に行ってください。

■石こうボードに直据付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用してください。

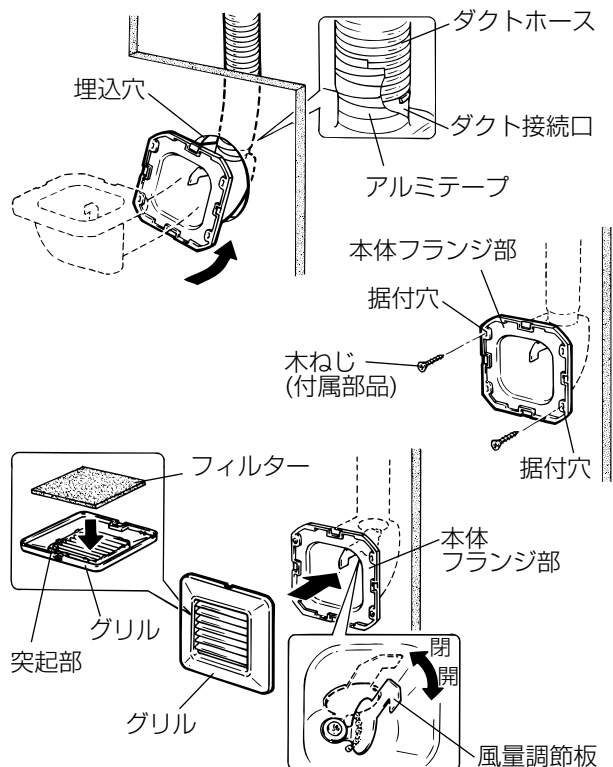


単位(mm)

埋込穴工事

1. 壁板の据付位置にφ95mmの埋込穴を開ける。
●市販の石こうボード用アンカーを使用しない場合は、□85mmの埋込穴でも可能です。
2. ダクトホースを据付位置より200mm程度長く配管し、ダクトホースを埋込穴から室内側に引き出す。

据付方法 つづき



ダクトホースの接続

- 図のように、ダクトホースの先端をダクト接続口に20mm程度差し込む。
●ダクトホース（断熱あり）を使用する場合は、断熱部分のみを先端50mm切断します。
- ダクトホースとダクト接続口の合わせ部全周を、市販のアルミテープで風漏れのしないよう2回以上巻き付け固定する。
- ダクトホースを埋込穴に押しもどす。

本体の据付け

本体フランジ部の据付穴4か所のうち対角2か所を使用して、本体を付属の木ねじ(2本)で壁板に締め付け確実に固定する。

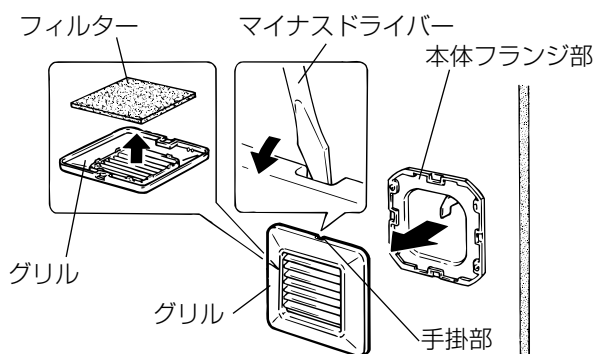
- 残りの据付穴は、必要に応じて市販の木ねじで据付けます。
- 石こうボードに直据付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用し同様に据付けます。

風量調節とグリルの取付け

- 風量調節をする場合は、図のように風量調節板を回し開口面積を調節する。
- グリル内側の突起部8か所にフィルターをのせる。
- グリルの吹出し方向をお好みの方向に合わせ、本体フランジ部にはめ込む。

お手入れ

グリルやフィルターにホコリが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。2か月に1度を目安として清掃してください。清掃の際には接続している機器の運転を停止してから行ってください。



- グリルの手掛部を持って手前に引きながら本体からはずす。
●グリルがはずれにくい場合は、マイナスドライバーを用いてはずします。
- グリルからフィルターを取り出し清掃をする。
●グリルは薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でふき取ります。
●フィルターは軽く水洗いし、よく乾かします。
- フィルターとグリルを元通りに取付ける。

お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火にあてて乾かししたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことは絶対にしないでください。
- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。（洗剤は原液のままで使用しないでください）
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- フィルターを入れ忘れますと壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないよう注意してください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。
（シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など）
- 交換用フィルターは、純正品をご使用ください。純正品は、下記にてお問い合わせいただけます。

交換用フィルターのご注文

■オンラインショップ
<https://www.melcoairtec.jp/>
 右の二次元コードからもアクセスできます



※お問い合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

メルコエアテクノロジー株式会社